

ほっと すぺ〜す

No.152
2023・6



全国手をつなぐ事業所協議会ニュース

今号では

◆総会のご回答のお願いと配信メールアドレスについて



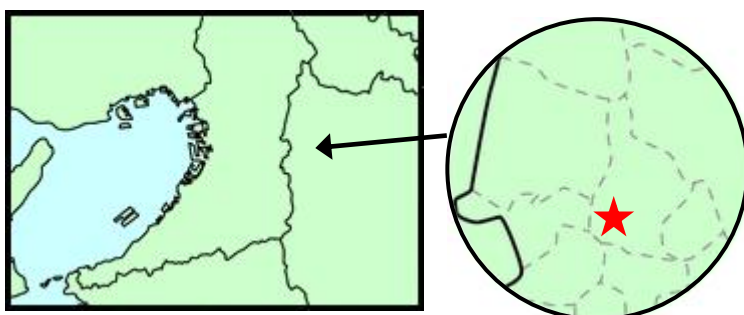
【あゆみの家の皆さん】

全国の事業所から

(特非) あゆみの家

あゆみの家

《奈良県 生駒郡 斑鳩町》

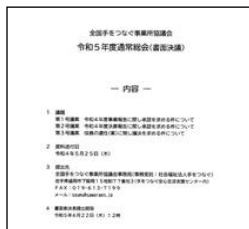


ほっとすぺ～す

No.152 2023年6月発行

今号の目次

3



総会のご回答のお願いと配信メールアドレスについて

4



にこっと、HOT！

避難訓練と防災学習をしました

（社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会）

6



On The Frontline ～ 前線に立つ～

笑顔で生きていくための伴走者として

～グループホームで看取った話～

社会福祉法人 ほのぼの会

セルプあいら（鹿児島県 始良市）

施設長 羽月 賢治 さん

14



全国の事業所から

あゆみの家（奈良県 生駒郡 斑鳩町）

18



編集後記



全国事業所協議会より

総会のご回答のお願いと配信メールアドレスについて

2022年度（令和4年度）も終わり、全国手をつなぐ事業所協議会では加盟事業所からお申し出のあったメールアドレス宛に、総会の開催にかかり資料等を電子メールでお送りしています。

今回は例年の事業報告・決算、事業計画・予算に加え、2年に1回の役員改選の議案も入っています。

ご回答の期限は6月22日（木）としていますので、未回答の事業所がありましたら、ご回答をいただきますようお願いいたします。

また、全国手をつなぐ事業所協議会では、従来から事業所協議会ニュースの他、各種のご案内やお知らせを電子メールで配信していますが、配信システムを昨年度途中より変更をしています。

各事業所で迷惑メール対策として、ドメイン設定等をされている状況等から一部では到達していない事案もありますので、電子メールの受信状況のご確認も改めてお願いいたします。

全国手をつなぐ事業所協議会 令和5年度通常総会（書面決議）

— 内容 —

- 1 議題
第1号議案 令和4年度事業報告に関し承認を求める件について
第2号議案 令和4年度決算報告に関し承認を求める件について
第3号議案 役員の選任(案)に関し議決を求める件について
- 2 資料送付日
令和4年5月25日（木）
- 3 提出先
全国手をつなぐ事業所協議会事務局（事務受託：社会福祉法人手をつなぐ）
岩手県盛岡市下飯岡15地割77番地3（手をつなぐ安心生活支援センター内）
FAX：019-613-7199
メール：soumu@sawaraen.jp
- 4 書面表決表提出期限
令和5年6月22日（木）12時

にこっと、HOT!

～ちょっと、イイ話～

「にこっと、HOT!」障害福祉の現場ではつついっい厳しい話も多くなつてしまいがちです。しかしよくよく見ると毎日の現場では笑い声が絶えません。ついニヤニヤしてしまつたり、ほろっとすることが日常の中に隠れています。

第6回目は大阪府大阪市からです。

避難訓練と防災学習をしました

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
(大阪府 大阪市)

最近は毎日、日本のどこかで地震が発生しています。

大阪市東成区にある「ふりーすパーすSUN」では、5月の外出行事で「あべのタスカル（大阪市立阿倍野防災センター）」に行きました。その前に「地震がおきたらどうする?」ということで、事前学習として地震を想定した避難訓練を実施しました。

今回の避難訓練は、事前予告なし!!です。

「あっ!地震だあー!」とスタッフが声をかけると、利用者の皆さんは率先して机の下に潜り込んで頭を隠すことができました。机の下にしゃがむことが難しい人はトイレまで誘導し、狭い空間で身を守る方法をとってもらいました。地震発生から揺れが収まるまで5分間を想定しましたが、こういうときの5分間って長い……。それでも利用者の皆さんは、スタッフからの指示が出るまでは安全な場所で待機することができました。「もう大丈夫」とスタッフからの声掛けにより安心した表情で座席に戻り、その後はYouTubeで地震が起きたらどうするのかのクイズ形式の動画を観ました。全問正解者はいたのでしょつか……。

外出行事の当日、あべのタスカルで地震はいつどこで起こるかかわからないこと、大阪にも津波が襲ってくる可能性があることを映像で学びました。東日本大震災の映像も含まれていて、



【とっさの避難行動もできました】



【動画を見ての防災学習】

その映像を見て一気に恐怖心が・・・

その後は地震が起きた後にどんな行動をとればいいのか！！を体験を通して学ぶことができました。ガスコンロの火を消す、ガスの元栓を閉める、ストーブの火を消すなど普段だと触ることが出来ない場所を、実際にスイッチを回して消してみる体験もすることができました。

館内にはリアルに地震の後の街並みが再現されているエリアもあり、街中を避難する時にはブロック塀からは離れて歩くことや、室外機の落下など危険なポイントを教えてもらいました。

火事が起きた時の消火器訓練も体験してもらいました。訓練でもなかなか消火器を実際に触る機会はないので、いい経験になったのではないのでしょうか。

タスカルの看板コーナーは震度7体験！！です。実際に起きた阪神淡路大震災の揺れと、今後想定されている南海トラフ地震を想定した揺れを体験することができるコーナーです。激しい揺れに腰痛持ちにとっては苦難の見学となりましたが、利用者の中にはアトラクションだったっけ？と思わせられるくらい楽しんでいた方も・・・

訓練を活かす機会がないのが一番ですが、今回の訓練を忘れずに、いざというときしっかり行動できればいいですね♪

（社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
ふりーすぺーすSUN 管理者 坂本 倫太郎）



【再現エリアで地震被害を体感】



【煙からの避難体験のようす】



【記念撮影もしました】



【消火器体験もできました】

On the frontline

～前線に立つ～

このコーナーは障害福祉を前線で支える「人」にスポットライトを当てます。

今回の対談は、鹿児島県始良（あいら）市にある、社会福祉法人ほのぼの会の理事、障害福祉サービス事業所セルプあいら（就労継続B型・生活介護・日中一時の多機能型）、グループホームヴィライヴ（共同生活援助・短期入所）の施設長である羽月賢治（はつき けんじ）さんです。羽月さんは1978年生まれの現在44歳、福祉に携わって20年、鹿児島県を引っ張る若きリーダーです。

施設のある始良（あいら）市は鹿児島市と霧島市の間にあり、人口も鹿児島県の中では多く、7万8000人。鹿児島市から車で40分20キロほどのところにあり、南に桜島が見える田園地帯とのこと。

生粋の鹿児島県人である羽月さんにお話を聞きました。

第15回

笑顔で生きていくための伴走者として ～グループホームで看取った話～



社会福祉法人ほのぼの会
セルプあいら
施設長 羽月 賢治 さん

【松崎】 それでは羽月さん、早速よろしくお願ひします。

始良（あいら）市ですが、関東人には聞きなれない地名です。「あいら」という地名に由来はあるのでしょうか。

【羽月】 そうですね。「あいら」という地名は、由来はよく知らないのですが、かなり前からある地名です。あいらの漢字（始良）から、「良い女性に合う町」と言われたりもしています。海沿いに鉄道があり、空港も近く、住みやすい街です。

【松崎】 「良い女性に合う町」ですか、それはもっと早く訪問すべきでした。いや意味が違ってますか。

ではまず羽月さんの障害福祉に携わる経緯、今の仕事にどう辿り着い

たかを教えてください。

【羽月】 私は1978年(昭和53年)生まれの現在44歳、独身です。三人兄弟の3番目で、一番上の兄に知的障害があり、その兄は現在、私が勤めている「セルプあいら」の就労B型に通い、グループホーム「ヴィライヴ」で生活しています。



【セルプあいら外観】

母は教職員(特別支援)をしていましたが、体調を崩して退職し、その退職金を譲渡して、小規模授産施設として2003年(平成15年)10月に社会福祉法人ほのぼの会を立ち上げました。立ち上げ当時、父は別の仕事をしていたが、理事長として参加(現在も理事長をしています)、母親が施設長となりました。



【グループホームヴィライヴ外観】

私は高校で土木科を卒業し、土木の道に進んでいりましたが、この機会に思い切って転職し、この世界に入りました。二番目の兄も今は別の仕事をしていますが、一時働いていることもありました。

【松崎】 そうでしたか。お兄さんに知的障害があり、法人の立ち上げをご両親がされ、そしてお母様は教員で特別支援教育にも携わっていたわけですから、家族ともにこの世界との関係も深いわけですね。ということは、羽月さんはお子さんの頃から障害のある方と接する機会が多かったということでしょうか。

【羽月】 私と上の兄とは5歳違いなんですけど、知的障害という名前は自分が年をとってから知りました。昔は精神薄弱と呼ばれていて、その難しい字を見ていたくらいの認識です。

母が特別支援学級に勤めたのは兄が生まれた後からだと思いますが、育成会活動は父も母もしていたので、小さい頃から手をつなぐ育成会ということは知っていました。ただそれが当たり前のことだったので、特別なイメージは持っていませんでした。普通に暮らしていたので家族ともに上の兄に特別に気を使ってということではなく、本当に普通に接していました。私と下の兄とのけんかをすると上の兄がそのけんかを止めることもあったくらいですから。

【松崎】 そうでしたか。私も弟に重度の知的障害があったのですが、二人兄弟で

したので弟の障害は気を使いました。兄弟三人だとまた違いますね。お兄さんの障害程度はどのくらいでしょうか。

【羽月】 兄の障害の程度は療育手帳でいうところのB-1です。中程度の障害で、コミュニケーションも取れて、会話も成り立ちます。もちろん支援は必要ですが。

もう一人の兄がいたこともあり、障害のある方に対する違和感みたいなものはありませんでした。また私の通っていた小学校の近くに若葉学園という児童養護施設があり、その子どもたちが通学していたこともあって、普通に遊んでいるような環境でもありましたので、そういったことにも特別な意識をせずに幼少期を過ごしました。

私自身、小学校2年生から野球をしていて、高校も甲子園を目指して、社会人になってもやっていました。30歳ぐらいで野球をやめて、今は仕事一筋です。強い学校ではなかったですが、甲子園に行きたかったですね。野球については、真ん中の兄は今でもやっています。今回のWBCはたまらなかったですね。大変力をもらいました。

【松崎】 WBCは私も感動した一人です。羽月さんは野球少年なんですね。頑張った野球、やめた時は色々な思いがあったかと思います。きっと今の活力に繋がっているんだと思います。

余談ですが、私の世代はスポーツと言えば野球、小学生の頃は休みの日にはいつも野球をしていました。私は野球は下手でしたが、中学3年生の時に応援団長になり、長野県中学野球大会に同行して回りました。その中学の野球部が県大会で優勝したんです。思い出しました。

話を戻して、兄弟が障害福祉に携わってくれる事は、親からは有難い事だと思います。「手をつなぐ育成会」が幼少期の頃より身近にあるということも兄弟ならではです。事業の設立はご両親が、特にお母さんが進められたと言う事ですが、今もご両親はお元気にされていますか。

【羽月】 はい。母は2011年（平成23年）に亡くなっています。父は1946年（昭和21年）生まれで、今年77歳になりますが、元気にしています。理事長も引き続き担っています。

【松崎】 それでは、羽月さんの事業所のことについて教えてください。

【羽月】 社会福祉法人ほのぼの会は2003年（平成15年）設立で、今度20周年を迎えるのですが、今年度に周年行事をやりたいと思っています。私は理事・施設長を兼務しており、施設運営全般を担当しています。

第1拠点として、障害福祉サービス事業所「セルフあいら」：就労継続支援B型（定員：14名）と生活介護（定員：6名）、日中一時支援（一日当たり7名まで）の多機能事業所があり、第2拠点として、グループホーム「ヴィライヴ」：共同生活援助（7部屋・サテライト型2部屋）と短

期入所(1部屋)があります。

就労B型の仕事は二つの部門(食品部・農業園芸部)があり、平均工賃は約1万2千円、報酬改定に向けて1万5千円位にはしていきたい気持ちがあります。コロナも明けていくので、今後力を入れていきたいですね。食品部はお菓子や味噌が中心(ウェルフェアトレード：生活の木とも組んでいて、自主製品もたくさんやっています)で、農業園芸部は米が中心で、広さ4ヘクタール、もみの袋で言うと500から600俵くらいできます。



【就労B型で味噌づくり】

グループホームは2020年(令和2年)のコロナ真っ只中に立ち上がり、現在3年目です。状況としては7床・短期1床・サテライト型2部屋：合計10床となります。

【松崎】 意欲的な展開をされていて素晴らしいですね。就労B型で農業もやられているということですが、お米600俵なんて想像が付きません。農作業は大変だと思いますが利用者の方はどうのように働いていらっしゃるのでしょうか。また生活介護はどのようなプログラムなのでしょう。

【羽月】 農作業は職員だけではなく、本人がきちんと生きがいやりがいとして携われるようにしています。障害程度としては軽度の方が多くいらっしゃいます。

生活介護と就労B型は全く別プログラムとなっていて、生活介護のプログラムはすごく多いです。音楽療法、調理実習、学習活動、お茶・お花、創作活動などです。

職員はセルフあいらは9名(管理者1名・サビ管1名・B型3名・生活4名)です。

【松崎】 さて話を変えますが、今や全国的に人材が充分でなく、特に夜間支援のあるグループホームをしてくれる人がいない状況をよく聞きます。職員が確保できずに事業自体ができないという事も聞いていますが、そちらはどうかでしょうか。またコロナ禍でご苦労があったのでは。

【羽月】 こちらも一緒ですね。人材が充分でない状況は変わりません。ただ、お陰様でうちは昨年の頭に7人くらい職員が入り、頑張ってくれています。そういう意味で今には人には苦慮していない状況です。ただ年齢で考えると、グループホームは年配の方が多いです。通所には若い人を配置していますが、異動等で動かしている現状はあります。

もう一棟グループホームを建てたい要望もありますので、人はたくさん入れている状況です。

始良市の状況として、人口も多いので福祉施設は沢山ある方です。一時

期就労A型が沢山でき、本当にすごかったです。特別支援学校はなく隣の霧島市に1つあるような状況です。

新しい利用者については2022年度（令和4年度）には新たな方が入所しましたが、2023年度（令和5年度）はありませんでした。現在、利用者総数は22名です。

コロナ禍で苦労した点は、利用者みんなのモチベーションを保つことでしょうか。感染者はあまり出なかったんですが、外出する機会が減ったので、通所する楽しみ、売れる楽しみも少なくなっていってしまったと思います。彼らのモチベーションを保つために、楽しみを持たせて、生きがいを持たせてというところに苦労しました

鹿児島にはいろいろな障害施設がありますが、うちは楽しむことを中心に取り組んでいます。働くことも大切ですが、楽しむことを忘れずにやっていきたいと思っています。生きる力になるもの、余暇的なものも含めてですね。クラブ活動では音楽バンドもやっていて、年に1回ライブしたりして続けていっています。



【バンド「キャンディービーツ」】

【松崎】 楽しむことは重要ですね。小規模作業所が沢山作られたかつての時代、集まって働くことしかなかったですし、働くことを目的にしないと存在を認められない世の風潮もあったと思います。それから比べると本人が楽しめるところにやるときたと感じています。今は多様性を見つめていく世の中になっているなどと思います。

では羽月さんに今悩んでいることについて伺います。どんな課題がありますか。

【羽月】 やはり利用者の高齢化は大きいですね。工賃向上と言っても、本人たちの状態が合わなくなってきている。就労B型の在り方を考えなければと思っています。それに職員が代わりに作業すればいいのかということ、そうではないですよ。B型を進めていく方法を模索しています。B型定員を減らして生活介護を増やすべきなのか、本人の思いをどう繋げていくか、定員の考え方、環境の作り方含め検討しています。

出来上がった商品の販売先も考えますね。販売の仕方の工夫、移動販売など。また地域貢献の一環で出来ることか、その辺りかなと。

またグループホームでは親なき後だけではなく、退院後の住まいなど、ニーズも多様化しています。サービスの中身の充実や場の確保が課題ですし、トータルでは人材育成でしょうか。

【松崎】 高齢化の課題はどこに行っても喫緊の課題として聞くとありますが、高齢の家族が本人を支援できない状況となった時は、なにか対策がありますか。

【羽月】 うちの法人は手をつなぐ育成会から成り立っていて、親の会が中心です。ですが親の思いと兄弟の思いは少し違いがあって、それが明確になってきているように感じています。

グループホームも作るのが遅かったですね。親がグループホームに出さないであろうとよく理事長（父）が言っていました。グループホームがあった方が良いというけれど、親がそこに出すか判らないと。その通りで、親が70歳を超えて、子どもを看ることが出来ない状況になってやっとグループホームという感じです。

だいたい入居する時は兄弟の方たちが進めています。親を説得してです。親はずっと一緒にいてもいいと思いますが、兄弟は親の代わりに看ることはできないと思っています。この間もグループホームに入居となったら、親の方が寂しいから入居を辞めるという話がありました。

【松崎】 グループホームがあると良い、とは思いながらも親の方が入れることができない。その現実直面されていると言う事ですね。因みに、そちらのグループホームで利用者の方をどこまで(年齢的にも)看ているのでしょうか。

【羽月】 実は開所1年目で利用者の方の看取りをしました。なかなかないケースだと思えますが。コロナ禍だったこともあり、健康診断して引っ掛かり、精密検査をして腎臓が悪く、透析レベルということがわかり。重度な方で今から透析するべきかどうか、また最後までみんなと暮らす方が良いのでは、とのお母さまの思いもあり、嘱託医と相談して決めました。

兄妹2人とも障害がある方で、どうしようと。お父さまが亡くなられてすぐだったので、どうにかできないかと。始良市にも相談して、うちのグループホームにお母さまを泊め、障害のある妹さんを短期入所の受け入れの許可してもらって、最後まで看護師2人入れて24時間体制で看取りました。

その方は最後、家族一緒に寄り添って亡くなられました。

【松崎】 そうでしたか。看取りまでやられたとは。看取りは特養ホームや入所施設で聞く話ですが、家族一緒に寄り添って看送られたなんて話は、普通あり得ない、いや作れない環境です。すごい判断をなされたということですね。家族も一緒になかなかできない。

親子で入れるグループホームを望む声もありますが、実現不可能な中で、理想の形の一つだったのではないのでしょうか。驚きました。

【羽月】 一年目だったので、本当にかむしゃらに一生懸命やったなど。スタッフ

も一生懸命やってくれました。一緒に住んでいる利用者も嫌がることなく、看取ることができました。今となればそれも自信になっています。

看護師からは無理するのはどうかと言われましたが、やった後は最後まで出来るんだと言ってもらえました。行政側からの支援は短期入所を全部(31日/月)出して欲しいということ、また特別なことでしたので、県の方には話をし、是非との言葉をいただきました。

その方は51歳で亡くなりました。妹さんは48歳くらいですね。家族がそんな形で参加してくれました。家族の協力があって、スタッフもいて、看護師もいて。そして、いつでも走ってきてくれる嘱託医がいて。周りが理解してくれて、一緒に住んでいる人も協力してくれたその環境があったからこそ出来た事だと思っています。

【松崎】 本人の意思決定、それが最終決定となったと思いますが、多くの方の支えがあって叶ったことではないでしょうか。勇気あるケースを聞ききました。小さい法人は無理かもしれませんし、大きすぎる法人はかえって難しいかもしれませんね。羽月さんのところは人材にも恵まれていたということですね。

【羽月】 人財育成は永遠の課題で、人・金・物と言われますが、人がいないと成り立たないのが施設運営ですよ。核になる、コアになってくれるような人をどのように育成していくか。

長く続けて働いてもらえること、仕事内容、そしてそれに対する対価もあると思います。どう打破していくか、サービスを継続、はたまた法人を継続していけるかにもつながると思います。

この仕事を20年近くやっていますが、土木から移ったこともあり、真逆っぽいと父親から言われました。この仕事って出来るかなと言ったら、母親からは大丈夫だと言われ入りました。色々ありましたし、1週間くらい出勤が出来なくなったこともありましたが、でも今もやっています。20代で覚悟を決めて、この仕事に入ったからにはモチベーションを持って、恥じないように続けてきました。

【松崎】 羽月さんの熱い思いを聞いて本当に良かったと思います。それでは最後に、今、皆さんに羽月さんの一番に伝えたいこと、教えてください。

【羽月】 そうですね。障害のある方を色眼鏡でみているのは私たちなんじゃないかと思うことがあります。なので、ノーマライゼーションだったりをしっかり深く考えて、前向きに明るく働ける場を作りたいなと思っています。人と人の繋がり、そういったものをしっかり楽しむ、また変化・成長を本当に喜べる仲間として、自分たちも学んでいきたいと思っています。共生社会を現実化していければいいなと思っています。

本当に心から嬉しいことって何なんだろう。そこに自己選択があり、何と何で選択をするのか、自己決定するうえでの支援、自己決定するための

素材を増やしていかないと本当の喜びに行きつかない。そういったものを作り上げないといけない、課題だなと思っています。

私は、まだまだ未熟者で、職員や世間に向け偉そうに伝えられることはありませんが、法人の理念である利用者の幸福追求に向け、日々働いています。自己選択や自己決定支援を通し、利用者本人が自分らしく、笑顔で生きていくための伴走者として勤めていきたいと思っています。その姿や言動がスタッフへの育成に繋がればと思っています。（たまには、偉そうにしゃべりますけど…）

今後、障害者を取り巻く環境は変化していくことと思いますが、「心」は変わることなく、ニーズや時代の変化に対応し、利用者がこの施設で過ごせて幸せだと思えるような運営、施設づくりに頑張りたいと思っています。



【セルプあいらの皆さんと一緒に】

【松崎】 羽月さん、ありがとうございました。

グループホームで看取りを行った話、しかも家族ごとケアされた話は衝撃的でした。これだけで特集を組みたいところです。全国でいよいよ進む高齢化。小さな事業にとっては如何に運営し、何を理念とするか難問です。制度は良くなった筈ですが、本当のところ手が差し伸べられているか。

私も作業所作りの親の会の活動に加わって30年以上経ちますが、最終的に親が子どもをケアし続ける状況はまったく変わらないところがあります。幸福を追求する権利はまだまだ保証されていません

今回の対談では羽月さんの熱い思い・楽しむを大切に、利用者の人生を考える、その思いが伝わってきました。看取りをはじめ、制度を超えてこれからの障害福祉を引っ張っていく強い意志を感じ、そしてこれからの事業所協議会も託していきたい若きリーダーであると思いました。今後のより一層のご活躍を期待しています。

（全国手をつなぐ事業所協議会 理事長 松崎 伸一）

全国の事業所から

あゆみの家

〔特定非営利活動法人 あゆみの家〕

（奈良県 生駒郡 斑鳩町）

あゆみの家は、1989年（平成元年）6月に当時の斑鳩町手をつなぐ育成会の親御さんたちにより立ち上げられた無認可の作業所として発足し、斑鳩町の旧保育所跡地を借り受け、民生委員の方々やボランティアさんら多くの方々の支援を受け、生産活動や創作活動、町内外の行事等への参加を地域の方々とともにしてきました。



【事業所の外観】

2008年（平成20年）に特定非営利活動法人としての認証を受け、2012年（平成24年）4月から指定生活介護事業所として運営を行っています。そして、2015年（平成27年）2月に活動の場を現在の龍田へ移転し、同年に日中一時支援を、2017年（平成29年）からは移動支援を、2018年（平成30年）から特定相談支援事業を、2019年（平成31年）から共同生活援助事業を実施しています。

日中活動では、内職作業の他、地域の龍田神社の清掃活動、毎月第4金曜日には地域の方から頂いた不用品や当事業所で収穫した野菜等を販売するあゆみ市（いち）を開催しています。また、フードバンク奈良様から配達作業を受託し、食品関連企業様他より寄贈された食品等を各事業所、施設に届けています。授産品として、たっぷりアーモンドの薄焼きクッキーを製造販売しており、昨年からふるさと納税の返礼品として好評を得ています。



【龍田神社秋祭り】



【あゆみ市（いち）】

創作活動では、県や町主催の作品展に出品し、県の障害者作品展では優秀賞を受賞しました。また、町の展示室を借りてのあゆみの家作品展も開催しました。その他、食べ物やスポーツ等テーマにした、あゆみの家オリジナルカレンダー作りをしています。あゆみの家カレンダーはボランティアさんや関係各所にご活用頂き、また販売もして好評を得ています。歌やダンスが好きで利用者さんが多く、音楽活動に力を入れています。マリンバ奏者・松本真理子先生にレッスンしていただき、毎秋に開催される松本真理子先生が音楽監督する障害のある人とない人がともにつくる音楽祭「まほろばあいのわコンサート」で、一般公募で集まった参加者さんと成果を披露しています。



【県作品展受賞作品「あゆみ寿司」】



【授産品のクッキー作り】

また、社会参加の促進の一環として、選挙の投票のサポートをしています。前もって候補者の顔写真などをまとめた用紙を準備し、各々が選択した候補者名を模擬投票用紙に書いて投票箱に入れる練習をし、投票場では選挙管理委員会の事務局の方に誘導していただきます。文字を書くのが苦手な方には候補者名を書いてもらう「代理投票」を活用し、選挙に参加しています。

「毎日楽しい日中活動の場を提供し、自立に向けた支援」を基本方針に、障害のある人達が地域で安心して暮らせるように、地域生活支援の拠点となる役割を果たすとともに、地域の方々に障害のある人達への理解を促し、障害のある人達に理解のある地域づくりに貢献していきたいと考えております。



【投票の様子】



【音楽のレッスン】

（特定非営利活動法人 あゆみの家 理事長 井上 一夫）

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約149,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。
TEL: 03-5577-6351 <http://www.zensapo.jp>
加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会傘下の
各都道府県団体の事務局となります。

2021年12月現在の内容です。(D-005640 2023-03)

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…



他人の物を壊してしまった…



このようなお困り事に
心当たりがある方に…



虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(株式会社)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

弁護士が
全面的に
サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護賠償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

【2020年1月作成 19-TC06633】

編集後記

厚生労働省によると2022年10月末時点で、日本で働く外国人労働者は約182万人と過去最高に達しています。その4分の1を占めるのが技能実習や特定技能で来日した外国人労働者とのことです。活躍する場は日本で人材の確保が困難な業種が多く、介護はその典型です。



団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」を抱える介護業界では、2025年には約32万人、2040年には約69万人の介護人材の確保が困難になるという試算もあります。人材確保の課題は、介護分野だけでなく、障害福祉分野への波及も昨今言われ始めています。求職者側が有利と言われる就職活動において、労働環境を整えつつ、選ばれる企業に変わっていかねばなりません。

そして、人材確保に向けた短期、中期目標を掲げ、多様な能力と福祉職以外の人材確保含め、具体的計画を立てていく必要性を感じています。このことが、事業継続計画のひとつとも考えます。

（東北ブロック 石川 明博）

<p>全国手をつなぐ事業所協議会ニュース 『ほっとすぺ～す』2023年6月号 (通巻152号) 2023年6月15日発行</p>	<p>【編集・発行】 全国手をつなぐ事業所協議会 岩手県盛岡市下飯岡15地割77-3 TEL 019(613)7200 定価100円</p>
--	--

コピー用紙 定期配送サービス

**ウチダシステムの通販をご利用頂ければ、
事務用品・衛生用品などが
全国手をつなぐ育成会連合会
事業所協議会様向けの特別価格で
お安くご提供できます！**

ポイント①


760万以上の商品を
「事業所協議会の皆様だけの特別価格」
でご提供します！

ポイント②

最短翌日配送のスピードで欲しいものが
直ぐに届く！
※一部、対象外の地域有

ポイント③

請求書を科目や事業毎に分けることが出来るので経理業務が楽に！



ご相談は下記までお問合せ下さい。
株式会社ウチダシステムズ 福祉施設営業部
TEL : 03-3537-0888